

中央大学支部 中大技術士会

ニュースレターvol.26

会員の皆様へ

今年の桜の開花は、東日本で平年より早く、西日本では平年並かやや早い開花となりました。12月の気温が例年より低く2月以降暖かい日が続いたため、寒暖の差がはっきりとしており桜にとっても早めの開花となったようです。

入学式の時期に桜が咲いているかな、と心配しておりましたが大丈夫だったようで安心しました。入学式の白看板と桜の前で撮る写真は、撮られる方は少し照れますが、周りで見ていると心が和む感じです(笑)

桜といえばその開花が、「サクラ咲く」のように試験合格によく例えられます。昨年度は技術士第一次試験において中央大学に沢山の桜が咲きました(全国三位)。今年も第一次試験を始め第二次試験・総合技術監理試験で沢山の「サクラ咲く」ように祈っております。

このニュースレターは、会員相互の情報交換を目的に、会の活動内容とともに会員個人の様々な活動などについてお知らせするものです。

なお、活動計画にありますとおり、講演会、交歓会など様々な企画を計画しておりますので、皆様の奮ってのご参加をお待ちしております。

また、当会では引き続き、会員の皆様からの投稿をお待ちしております。中大技術士会のホームページ(<http://www.chuo-u-pej.org/>)から投稿用のフォームをダウンロードしていただき、投稿してください。

内 容	ページ
巻頭言	2 ページ
■ 「技術士第二次試験の合格発表」: 幹事 坂林和重さん(電気電子部門)	2 ページ
活動報告	3 ページ
■ 幹事会	3 ページ
■ CO2環境対策研究会	4 ページ
■ 部会報告	4 ページ
活動計画	6 ページ
■ CO2環境対策研究会活動計画	6 ページ
■ 企画部会活動計画	6 ページ
■ 大学支援部会活動計画	6 ページ
エッセイ	7 ページ
■ 「温故知新」: 渡辺利道さん(建設部門・総合技術監理部門)	7 ページ
■ 「國生教授の最終講義が行われました」: 幹事 中尾愛人さん	8 ページ
■ 「技術士と弁護士の連携をめざして」: 小峯健介さん(弁護士)	9 ページ
技術士第一次試験合格者から	10 ページ
■ 「技術士第一次試験への挑戦」: 三上祐摩さん(機械部門)	10 ページ

■ 「技術士第二次試験の合格発表」：幹事 坂林和重さん（電気電子部門）

先日の3月2日(月)技術士第二次試験の合格発表がありました。結果は、第1位：京都大学・第2位：北海道大学・第3位：東京大学・第4位：九州大学でした。これらの大学を見ると司法試験や弁理士試験などでよく見かける大学です。この事を考えた時に技術士資格は、一般的な社会での認知度が低いものの技術士



資格を理解している人には、絶大な評価を得ていると思っています。中央大学の第二次試験合格者数の順位は、第12位でした。第一次試験で大学在学生の合格者人数順位で平成26年12月に全国第1位を獲得したことを考えると第二次試験は、まだまだと考えています。

しかしながら、第一次試験の大学在学生合格者数の全国第1位を当面継続しようと思っています。なぜなら、第二次試験の受験条件の一つが業務経験4年間、または、7年間です。さらに中大技術士会で第二次試験の受験支援を企画する予定です。数年後においては、第二次試験の合格者数でも期待が持てると考えているからです。

さて、私が技術士試験に精力を注いでいるのは、技術士資格に惚れ込んだからです。今日は、私が惚れ込んだ技術士資格の魅力について書いてみます。

もともと私は、中大大学院の電気工学専攻を卒業して日産自動車に就職しました。当時の指導教授が、「お前は、日産自動車に就職しなさい」と指示されてそのまま就職しました。そして、電気工学専攻を卒業しているので電気が得意だったことを仕事に生かしたいと勉強を続けていました。私が過去に受験してきた資格試験は、消防設備士・電気工事士・施工管理技士・エネルギー管理士・電験などです。そして、電気の知識が増えるにしたがって、「電気を教える事を仕事にしたい」と考えて、53歳の時に早期退職・独立起業しました。技術士資格は、起業独立した後で受験しました。

受験したきっかけは、知人から「独立起業したのなら、技術士試験を教えなさい」と言われたためです。始めは、「技術士を取得して無いし、私の柄ではないので」と断っていたのですが、「やり方は教えるから」と強く誘われて、技術士資格の取得を兼ねて会社経営をする事にしました。講師・受講生の募集と自分の受験勉強の二刀流に加えて会社経営です。指導を受けた甲斐があって技術士資格を取得でき会社経営もそれなりに立ち上げる事ができました。

この時に技術士資格の魅力にはまりました。まず、技術士資格で他の資格制度に無い特徴として一つに技術者倫理があります。この倫理は、医師国家試験や聖職者などに有るようですが、私の今までに受験してきた資格試験では、有りませんでした。さらに二つ目の違いは、考え方試験です。私が今まで受験してきた資格は、知識の暗記試験です。例えば、消防設備士・電気工事士では、500時間勉強すれば合格できます。施工管理技士では、1,000時間勉強すれば合格できます。エネルギー管理士では、2,000時間です。そして電験では、5,000時間勉強すれば合格できます。何を暗記すれば良いかわかっているので合格までの時間が予想できるのです。ですが、技術士は、違いました。10年間勉強しても合格できない人がいれば、1か月勉強して合格する人もいます。その違いが、技術者倫理と技術士にふさわしい考え方です。

いまでは、私は、惚れ込んだ技術士試験の受験指導だけに専念しています。他の資格試験を一切教えていません。そして、一人でも多くの技術士を育てようと、優れた講師と受講生を集める事に専念しています。そして、技術士育成のノウハウを中大OB・OGに生かせればと考えています。将来は、「司法試験と技術士の中央大学」と言われるようになれば、と夢見ています。

■ 幹事会

本会では、概ね月に一度幹事会を行い、各行事の計画や方針などについて話し合っています。通常、中央大学駿河台記念会館の学員会役員室か会議室で行います。役員、幹事以外の会員の皆様にも参加していただけます。是非一度参加していただき、ご意見などお聞かせください。役員・幹事一同お待ちしております。下記に幹事会の内容を報告します。

行事名	開催日程	活動概要
平成 26 年度 第 7 回幹事会	12 月 10 日 (水) 18:00 ~ 19:15	<ul style="list-style-type: none"> ・総務部会報告：(1)学員会から新年号の「年賀広告」掲載依頼が来ている。CO2 環境対策技術研究会と連名で掲載することを了承した。(2)日本技術士会主催の第 1 次試験合格者歓迎会が 1 月 31 日行われる。ポスター参加する申請を行った。 ・企画部会報告：(1)ホームカミングデー(10/26)に参加した。(2)理工白門祭(11/1 ~ 11/3)に参加した。(3)中大法曹会との交歓会を 11/17 実施した。林幹事長が弁護士依頼事項の事例について講演した。(4)人間総合理工学科、石川先生を講師に招いた講演会を 11/28 行った。(5)公認会計士会との交流会を加藤幹事を中心に計画していくことを確認した。(6)テクノロジー懇談会を國島幹事を中心に 1 月 ~ 2 月に実施することを確認した。 ・広報部会：(1)HP にニュースレター、CO2 環境対策技術研究会、ホームカミングデー、理工白門祭、法曹会との交歓会などを掲載した。(2)会員の移動、(3)サーバーの更新手続きを行った。(4)会則の「準会員定義」について更改の提案があった。正式には次回総会で提案する。 ・大学支援部会：(1)H27 年度の「科学技術と倫理」「技術者倫理」への講師派遣について案が提示され了承された。(2)キャリア支援課発行の「キャリアデザインノート」に中尾幹事が在学中に第 1 次試験突破を目指そうという記事を執筆した報告があった。 ・CO2 環境対策技術研究会から第 21 回研究会を東京臨海リサイクルパワーで行った。次回研究会を横浜市金沢水再生センターなどで行うことを計画している。 ・次年度の「技術者倫理」「科学技術と倫理」講座への講師派遣について講師の提案が確認された。 ・大学技術士連絡協議会総会が 12 月 8 日日本技術士会会議室で行われた。
平成 26 年度 第 8 回幹事会	1 月 21 日 (水) 18:00 ~ 19:40	<ul style="list-style-type: none"> ・総務部会報告：(1)第一次試験合格者が発表された。中央大学は全体で 224 名が合格し、在学学生は 143 名で全大学の第 1 位になった。(2)会則改定の内容が再提案され概ね合意された。(3)物理学科の「技術士ガイダンス」を 1 月 17 日実施した。(4)入会者に他会員の情報が閲覧できない、本件について日立技術士会の名簿管理を参考にすることを検討する。 ・企画部会報告：(1)第 3 回講演会を 2 月 ~ 3 月に実施する。(2)定時総会の特別講演を石井理工学部長に依頼し、第 3 回講演会の講師

		<p>を理工学部長から推薦していただく。(3)公認会計士会との交流会を計画中である。(4)テクノロジー懇談会を企画中である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報部会報告：(1)CO2環境対策技術研究会報告会(総会に相当)をHPに掲載した。(2)人間総合理工学科の石川先生をメーリングリストに追加した。(3)ニュースレターの編者に遠隔地であるが今野幹事、渡辺幹事に協力を依頼することにした。これにより編集者の負担軽減が図れ、内容充実が期待される。 ・大学支援部会報告：(1)「技術者倫理」講義が1月21日全日程を終了した。(2)1次試験合格者の在学生の人数が全国1位になった。(前述)。(3)技術士ガイダンスは、物理学科は終了し、6月に他の全学科で実施する。都市環境学科以外の学科から受験者を増やそう務める。 ・CO2環境対策技術研究会を横浜市金沢水再生センター等で行うが、期末試験期間と重なり学生の参加はない。 ・その他：(1)第一次試験合格者の「お祝い会」(サンドイッチパーティーなど)を行い、入会勧誘と第二次試験指導を行ってはどうかという提案があった。(2)卒業式で入会案内を配布したらどうかという提案があった。
--	--	---

■ CO2環境対策研究会

行事名	開催日程	活動概要
第22回研究会 雪のため中止	H27年1月30日(金) 12:30 金沢シーサイドライ ン「並木北」駅集合 見学・説明 13:00~16:45	横浜市金沢水再生センター及び南部汚泥資源 化センターの見学 交流会:17:30~19:30 横浜中華街「蓬莱閣」
H26第4回幹事会	H27年2月19日(木) 18:30~20:00 中央大学後楽園校舎5310	第22回研究会中止の報告 第22回研究会の日程調整 CO2研究会の今後の研究テーマについて
H26第5回幹事会	H27年2月19日(木) 18:30~20:00 中央大学後楽園校舎5310	第22回研究会の日程調整 第23回研究会の企画

■ 部会報告

企画部会活動報告

項目	内容
中大技術士会 H26第3回講演会	<p>日時:2015年3月19日(木)18:30~</p> <p>会場:後楽園キャンパス 3号館 5階 情報工学ゼミ室1(3500室)</p> <p>講師:中央大学理工学部 情報工学科 牧野 光則 教授</p> <p>テーマ:「中大・理工・情報におけるCG・VR研究・教育のご紹介」</p> <p>講演会終了後にCG・VR研究内容の見学会を開催</p> <p>参加者:15名</p>

広報部会活動報告

項目	内容
サーバー運営	メールリストおよび Web 名簿のメンテナンス実施 新規入会者の登録
ニュースレターの発行	ニュースレターvol.26 作成、発行
H P 新規掲載	ニュースレターvol.25 の掲載 平成 26 年度第 3 回講演会開催案内掲載。 平成 27 年 2 月幹事会開催案内掲載 平成 26 年度第 3 回中大技術士会講演会の様子を掲載
その他	会則第 5 条と 6 条の改訂案を幹事会に提案
会員の皆様へのお願い	就職、転勤、転職、転居等により連絡先が変更になった場合、幹事会宛てにご一報をお願いします。詳細はホームページ「入会のご案内」をご参照ください。連絡先：toiawase@chuo-u-pej.org ニュースレターへの会員の皆様らの投稿をお待ちしています。 近況報告、受験体験談、2020 年東京五輪への期待、何でも構いませんので、積極的な応募をお待ちします。

大学支援活動報告

項目	内容
「技術者倫理」講義	2015 年 1 月 21 日（水）平成 26 年度最終の講義が実施され、中大技術士会が担当する 14 コマが終了しました。
「低緯度太平洋ソーラーセル帆走筏発電システムの成立性」研究会	2015 年 3 月 12 日（木）最終の研究会が行われました。 主査の國生教授が退職となるため、2014 年度報告書の確認を行い、この体制での研究会は終了しました。  報告書 URL： http://www.civil.chuo-u.ac.jp/lab/doshitu/top/houkokusyo%20honsastu.pdf

活動計画

以下に今後の本会の活動計画をご案内します。皆様、奮ってご参加ください。

■ CO2環境対策研究会活動計画

行事名	開催日程	活動概要
第22回研究会	H27年5月下旬で調整中	横浜市金沢水再生センター及び南部汚泥資化センターの見学
H26第6回幹事会	H27年6月18日(木)予定	詳細は決まり次第連絡ます。

■ 企画部会活動計画

行事名	開催日程	内容
第7回テクノロジー懇談会	2015年4月23日(木)予定	詳細は決まり次第連絡します。
中大技術士会 H27第1回講演会	2015年5月30日(土)	定時総会時の特別講演会として開催予定 講師：石井 靖 理工学部長

■ 大学支援部会活動計画

行事名	開催日程	内容
「科学技術と倫理」講義	2015年6月9日(火) 6月16日(火)	岩瀬、藤森両氏が、ゲストスピーカーとして、全学科の1年生を対象に講義を行います。
技術士第一次試験受験ガイダンス	2015年6月1日(月) 6月30日(火)	在学3年生を中心に技術士第一次試験の受験ガイダンスを実施する。
技術士第二次試験受験ガイダンス	5月下旬 or 6月初旬	中大技術士会の総会に合わせて技術士第二次試験の受験ガイダンスを実施する。

上記以外にも、幹事会(ほぼ毎月開催)や多くの行事を開催します。また、「大学との折衝」「各学部との交渉」なども行います。会員の皆様にも気軽にご参加いただきたく、役員・幹事一同お待ちしております。

今回は、本会の幹事である渡辺利道さん（建設部門・総合技術監理部門）・中尾愛人さん、弁護士 小峯健介さんのお三方より寄稿を頂きましたエッセイをお届けいたします。

■ 「温故知新」：渡辺利道さん（建設部門・総合技術監理部門）

温故知新「故(ふる)きを温(たず)ねて新しきを知る」とは「過去の事実を研究し、そこから新しい知識や見解をひらくこと」です。私が専門としているまちづくりでは、地域の成り立ちや歴史、気候、風土を知ることがとても重要なことです。



2007年6月、温故知新を实践する活動として、地域づくりの活動する友人たちを誘って、参勤交代で使われた街道を歩いてみることにしました。

私の職場であった新発田市から一つ目の宿場だった津川まで約40km、殿様街道と呼ばれる古道をできるだけどって歩きました。車で行けば1時間ほどの距離ですが、時速4キロ弱のスピードでたどる旅は新しい発見があり、人との出会いがあり、地域の歴史や暮らしを知ることができました。この道筋には彼の吉田松陰が東北視察の旅の途中で最も苦労した峠と評した諏訪峠もあり、完全な形の一里塚も残っています。また、街道の一部には石畳も残されており、毎年地元の有志と維持活動を続けているお年寄りから、地域を愛する気持ちを聞くことができました。

この旅がきっかけとなり、友人数名と毎年6月と10月に1泊2日の日程でミニ参勤交代を続け、2012年9月、足掛け5年かけて新発田藩の上屋敷のあった新橋駅前に到着することができました。着いてみるとそこは飲み屋街となっていました。よくテレビで酔っ払いのおじさんにアンケートする風景が出ますが、その酔っ払いを生み出している場所こそが、昔の我が新発田藩の屋敷跡かと思うと少々複雑な思いとなりますが、これこそ行ったものでないとわからない楽しさでしょう。今、中山道に挑戦しています。日本橋を出発して現在、高崎まで来ました。今年はどんな出会いがあるか、今から楽しみです。
(2012.10.10 新潟日報掲載記事)



■ 「國生教授の最終講義が行われました」：幹事 中尾愛人さん

中央大学工学部都市環境学科 國生剛治教授の最終講義が、平成 27 年 3 月 7 日（土）後楽園キャンパス 5533 号室で行われましたので報告します。

当日は、あいにく小雨模様の肌寒い日でしたが、都市環境学科の先生方、学生、地盤工学研究室の卒業生、他研究室の卒業生、國生先生にお世話になった様々な分野の人々、國生先生の恩師の方など 200 名以上が熱心に國生教授の最終講義を堪能しました。また、國生先生の永年の研究人生を支えて来られた、奥様をはじめとしてご家族の皆様も教室に来られておりました。



写真 1：最終講義の風景

最終講義は、「地震地盤動力学とエネルギー 50 年の軌跡」の演題で、地震、液状化、斜面崩壊等に関する 50 年に渡る調査、解析研究に関して熱く、楽しく講義されました。

専門的なことは解りませんが、「斜面崩壊を支配するエネルギー法則を実証した模型振動台実験」のビデオ映像が映されると教室中にどよめきが起きました。地震振動は斜面崩壊のトリガとなるが、その後の地滑りはエネルギーに支配され、緩斜面の方が地滑り規模が大きくなるなど講義は大変説得力を感じました。

講義の終盤では、「人類は資源の枯渇の前に熱汚染のような環境問題で行き詰ってしまう」との危機感から、地球にそそぐ太陽エネルギーが有効に活用できないか研究した「低緯度太平洋ソーラーセル帆走筏発電システムの成立性」についても報告されました。

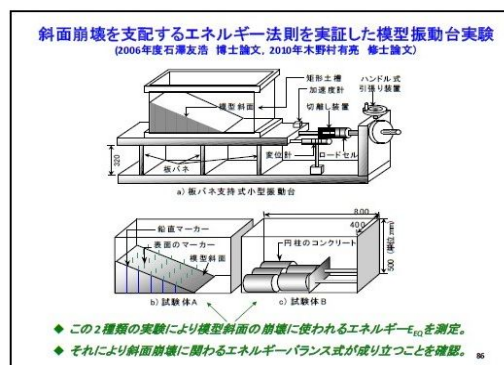


図 1：最終講義資料より

講義終了後、5 号館地下に会場を移しパーティが行われました。パーティ会場で司会進行の榎山教授から、國生先生が中央大学名誉教授となることが報告されました。パーティでは、多くの関係者が國生教授の功績を話題に歓談したり、別れを惜しむ学生たちとの記念写真撮影など、大盛況でありました。



写真 2：パーティ会場風景

國生先生には、中大技術士会は、「技術者倫理」講義への講師派遣や「低緯度太平洋ソーラーセル帆走筏発電システムの成立性プロジェクト研究」の他、様々な機会での講演をお願いするなど大変お世話になり感謝に堪えません、今後も中大技術士会に様々な指導・助言を期待し、最終講義の報告とします。

■ 「技術士と弁護士の連携をめざして」：小峯健介さん（弁護士）



1 簡単な自己紹介

出身は横浜です。平成 15 年 3 月に中央大学法学部法律学科を卒業し、同年 4 月から約 1 年半にわたる司法修習を経て、平成 16 年 10 月に弁護士登録（東京弁護士会）をしました。現在、弁護士 11 年目です。

2 取扱業務のご紹介

個人の方や中小企業の方を中心に大企業の方まで、幅広い方からご相談・ご依頼をいただいております。事件類型としては、一般的な民事案件、会社法務案件、家事案件などを中心に、多種多様で幅広い種類の案件を手がけております。

3 中大技術士会との出会い

平成 23・24 年度の中大法曹会執行部の末席幹事を拝命し、平成 23 年 11 月に初めて実施された『中大技術士会と中大法曹会との交流会』の中大法曹会側の担当幹事を務めさせていただきました。お恥ずかしながら、それまでは、「中大技術士会」の存在はおろか、「技術士」という資格の存在すら存じ上げませんでした。

その後、平成 24 年の第 2 回交流会の担当幹事を務めさせていただくとともに、その後の交流会や中大技術士会主催の勉強会などにも何回か参加させていただいております。

4 中大技術士会と出会えてよかったこと

交流会や勉強会を通じて中大技術士会の先生方と知り合うことができ、交流の輪が広がりました。これまで文系の勉強が中心でしたので、自分の知らない技術分野に関するお話はとても新鮮で興味深く、知的好奇心をくすぐられます。おかげさまで、今までであれば何気なく読み飛ばしてしまっていたような新聞記事の科学面にも、少しばかり興味を持つようになりました。

中大技術士会の先生方とお話させていただいたことを機に、視野が広がり、見聞も広がりました。中大技術士会の先生方には大変感謝しております。

5 技術士と弁護士の連携をめざして

一般的に弁護士は法律問題や紛争解決を得意としておりますが、技術分野については必ずしも詳しいわけではありません。技術に関することで分からないことがあったときに、気軽にご相談できる技術士の先生が身近にいるということは、大変頼もしく、心強いことだと思います。

私の場合、これまで技術士の先生方と連携して業務にあたる機会はありませんでしたが、今後、技術分野の問題を含むような案件では、技術士の先生方と積極的に連携することにより、よりよい解決を導くことができればよいなと感じております。

技術士と弁護士は、お互いに相手方の業務内容についての理解が十分ではなく、どのようなときに、どのような方に相談すればよいのかなどについて必ずしも十分に理解できていないのが現状ではないかと感じております。今後も交流を重ねることで相互の理解がより深まり、ゆくゆくは業務上の連携につながっていけばよいなと考えております。そのために、微力ではありますが、連携に向けた架け橋となることのお手伝いができれば幸いです。

6 中大技術士会のみなさまへ

なにぶん理系の知識には疎いですが、好奇心は比較的旺盛な方だと思います。自分の知らない技術分野のお話には興味がありますので、ぜひ勉強会や懇親会などの機会がありましたら、

積極的に誘いいただければ嬉しいです。

また、お困りのこと、お悩みのことなどがありましたら、遠慮なく、お気軽にお声をかけていただければ幸いです。まだまだ未熟者ではありますが、きっと何かしらお役に立てる場面があるのではないかと思います。

同じ中央大学出身というご縁を大切にしていきたいと思いますので、今後とも、何とぞよろしく願い申し上げます。

技術士第一次試験合格者から

機械部門の三上祐摩さんから、技術士第一次試験合格体験談をいただきました。第一次試験合格を目指している方にとって大変参考になります。ありがとうございます。

■ 「技術士第一次試験への挑戦」：三上祐摩さん（機械部門）



（１） 受験の動機

入社してから早5年が過ぎ、仕事もある程度覚え、日々淡々と仕事をこなしてきました。仕事のピークが過ぎ、5日間の連休をとっている時に、ふと「仕事をこなしているが、自分が仕事を通じて学んだことは、果たして会社外でも通じるのだろうか？」と思うようになりました。日に日に、その思いが強くなり、自分の能力を証明できる資格を探していた時、出会った資格が“技術士”でした。試験について色々調べると、2014年に技術士第一次試験に合格すれば、2015年に受験できることがわかり、第一次試験の受験を決意しました。

（２） 受験の準備 及び 試験結果

過去問題を分析すると、試験問題はほとんど過去問題から出題されていた為、過去問題7年分を5回解きました。この反復により、試験中も問題をすらすらと解くことができました。結果は、下記に示す通りであり、過去問を解けば、満点に近い点数をとることができます。ただし、他の部門については、本部門と同様の傾向かどうかわかりませんので、過去問題の分析をして、試験対策方法を検討した方が良いかと思います。

- ・ 適性科目：15点 / 15点中（合格点：8点）
- ・ 専門科目：46点 / 50点中（合格点：26点）
- ・ 基礎科目：14点 / 15点中（合格点：8点）

尚、参考までに、使用した参考書を下記に示しておきます。同じ部門を受験する方は、参考にしてください。

- ・ '14年版 技術士第一次試験 基礎・適性科目対策（秀和システム）
- ・ 技術士第一次試験 機械部門 専門科目 過去問題 解答と解説 第4版（Net-P.E.Jp）
- ・ 技術士第一次試験 機械部門 専門科目 過去問題 解答と解説 第5版（Net-P.E.Jp）
- ・ 技術士第一次試験 機械部門 専門科目 過去問題 解答と解説 第6版（Net-P.E.Jp）

（３） 受験の感想

大学院・会社では、振動騒音のみを扱っていたため、正直、他の分野については忘れていまし

た。しかし、本試験勉強を通じて、流体力学等の理論を思いだすことができ、仕事で遭遇した音響-流体連成現象の理解向上に繋がられて良かったと思います。

(4) 最も苦労したこと

モチベーションの維持に最も苦労しました。誘惑に負けそうな時は、「技術士になった自分」を想像すると、自然と勉強する気がでてきました。しかし、平日の夜は、前述の対策だけでは乗り切れなかったため、「一問解いたら、ビールを飲む」というルールを作り、帰社後にどんなに疲れていても、必ず一問だけ解くようにしました。

(5) 現在

現在は、技術士第二次試験対策セミナー（JES）に参加しながら、勉強を実施中です。第二次試験は合格率が低く、一発合格が難しいかもしれませんが、全力を尽くしたいと思います。

【第 11 回中大技術士会定時総会開催のご案内】

第 11 回定時総会を下記の通り開催いたします。御多忙中のこととは存じますが、何卒お繰り合わせの上、ご出席下さるようご案内申し上げます。

記

1. 日時内容：

平成 27 年 5 月 30 日（土）13：45 開場

(1) 第 11 回定時総会 14：00～15：00

(2) 特別講演会 15：30～17：00

講演：「合金による貴金属の代替 - 固体電子論と元素戦略 - 」

講師：石井 靖 理工学部長

(3)懇親会 17：30～19：00

2. 会場

総会・講演会：中央大学理工学部後楽園キャンパス（5号館3階 5333教室）

懇親会：中央大学理工学部後楽園キャンパス（5号館地階 生協食堂）

3. 会費

(1) 総会のみ参加：無料

(2) 総会・講演会参加：¥1,500 円

(3) 総会・講演会・懇親会参加：¥4,000 円

4. 参加申込み方法

詳しくは、中大技術会ホームページ（<http://www.chuo-u-pej.org/>）をご覧ください。

ニュースレターへのご意見、ご感想をお待ちしています。 toiawase@chuo-u-pej.org
2015 年 04 月号 中大技術士会 広報部会 発行